



# ロシアNIS経済速報

社団法人 ロシアNIS貿易会 2006年（平成18年）12月15日号 No. 1383

## 目次

■ 繁栄するモスクワとWTO加盟 .....	溝端 佐登史 1
■ トピックス .....	8
富士製作所が即席麺製造設備をウクライナへ輸出／8	
日本板硝子子会社がカザフスタンに工場の建設を計画／8	
■ 統計速報 .....	8
ロシア・NIS諸国の市場経済移行進展度／8	
■ ロシア・NIS諸国通貨の為替レート .....	10

## 繁栄するモスクワとWTO加盟

京都大学 経済研究所  
教授 溝端 佐登史

### はじめに

石油・ガスの価格上昇に伴い、ロシアは国際政治経済におけるスタンスを著しく高めており、ペトロポリティクス（石油による政治）が議論されている。石油価格の上昇は民主主義の低下を招いており、「プーチンは大規模なロシア石油会社、ガズプロム、さまざまな新聞社とテレビ局、ほかのビジネスと独立した機関を飲み込むために石油の恵みを利用した」（T.L.Friedman, *The first law of petropolitics, Foreign Policy, May/June 2006, p.35*）。ロシアのGDPは2005年21.7兆ルーブル（名目8,020億ドル）、6.4%の成長で、2006年に9,000億ドルを越すと見られる。

経済力を背景に国際舞台でロシアは重要なプレーヤーになっている。2006年11月18日の首脳会談で中国は戦略的關係にあることを確認し、EUとは11月24日にエネルギー分野の新協定を見送った。こうしたなかで、ロシアのWTO（世界貿易機関）加盟の二国間交渉の山場であるアメリカとの交渉が11月10日基本合意に至った。国際経済に及ぼすロシアの影響、